

入学説明会 挨拶(R5.2.3)

みなさん、こんにちは。校長の高瀬です。

新型コロナの第8波もようやく収まりを見せ、今日は予定どおり、3年ぶりに入学説明会を開催することができました。

さて、本日、この雄山中学校に来ていただいた目的、それは、4月から雄山中学校の一員となる新入学生のみなさんに、中学生として最高のスタートを切るための「心構え」と、必ずや立派な中学生になるのだという「覚悟」をしっかりとってもらうためです。

「心構え」について。何事もスタートが肝心です。よいスタートは、スタートラインに立つまでの「心構え」で決まる。今は、まさにその「心構え」をつくる時。あやふやな気持ちでスタートラインに立つことのないように、今日の話をしっかり聞いて、気持ちも体調も万全に整えて雄山中学生となる「心構え」をつくってください。

「覚悟」について。人は、自分が強く思い描いたことしか実現できないと言われます。こうなりたい、いや絶対になる！と強く願わなければ、立派な中学生にも大人にもなれない。「棚ぼた」はないのです。あのアメリカのバスケットボールリーグで大活躍している八村塁選手も、大相撲で再び幕下から横綱を目指してがんばっている朝乃山関も、ぼんやりと生きていて今のようになったと思いますか？それはあり得ません。「絶対にNBAの選手になる！」「大相撲の力士になってやる！」という「覚悟」があったからこそ、決して諦めない強い意志で努力を続け、持って生まれた才能を開花させたのです。

みなさん一人一人の中にも、まだ誰も知らない「才能」が秘められています。その才能を花開かせることができるのは他の誰でもない自分自身の努力です。富山県の誇る若きアスリート達も、「志を立て」て努力を始めたのは「中学時代」でした。中学時代とはそういう時代なのです。その意味で、中学3年間は立派な大人になるための「修行の時間」であり校舎は「修行の場」です。修行ですから、つらいことも苦しいこともたくさんあります。しかし、甘えを捨てて幾多の困難を乗り越えてこそ、これからの社会を生き抜く逞しい力「学力・体力・精神力」そして「本物の自信」を身に付けることができるのです。

今日このときから、みなさんは未来の雄中生。その誇りと自覚をもって小学校の学びを締めくくってきてください。もう後戻りはできません。6年間温かく守り育てていただいた学び舎に、そして先生方に、心からの感謝を伝え、しっかりと別れを告げてきてください。

4月10日の入学式で、新入生全員が一斉にスタートラインに立ち、雄中生として最高のスタートを切ってくれることを期待しています。